

第 195 回
定例探鳥会

日時：2003 年 3 月 9 日 (日) 天候：晴れ
コース：高来神社 水道山 湘南平

今朝は少し寒いがいい天気になりました。今日のコースは高麗山の南面側の市街地を回り湘南平に登る、毎年恒例のレンジャク探索コースです。

レンジャクを探しながら水道山まで来ましたが、ここまではレンジャクの姿はありません。それでもカワラヒワ、シロハラ、アオジ、エナガ、イカルが観察されたり、ハイトカがカラスにモビングされたり、またまたコゲラの頭の赤い部分をじっくり見ることができました。高麗山の縁を回るようなこのコースは森の中に入ってしまふよりいろいろな鳥に出会えます。

お目当てのレンジャクが餌台に来るF邸ではまだレンジャクは来ていませんでしたが、イカル、シメが梢で観察されました(この次の探鳥会にはきっと見られるでしょう?)。

山に入り市街地から登山道入り口のいつもの休憩場所では、イカルの50~60羽ほどの大群が飛び交っていました。

湘南平ではいつものシメ、モズの姿が見られましたが、やはり今回もピンズイは観察されませんでした。残念。

参加者

1. 吉田 宣子
2. 杉本 健二
6. 岩崎 泰
7. 岩崎 秀美
11. 入江 一彦
12. 上野 尚博
16. 松下 弓子
17. 国友 昭男
21. 木田 ハマ
22. 古賀 勝秋
26. 南 博
27. 下倉 紘一
31. (内山規矩雄)
32. (金子 典芳)

参加人数 33 名 (敬称略)

3. 鈴木 逸子
4. 福田 適
5. 室野 義晴
8. 山田 文則
9. 吉田 敬一
10. 森田 義雄
13. 池 優香里
14. 薄井 みゆき
15. 清水 哲子
18. 貞松 嘉子
19. 八木 正
20. 小野 肇
23. 白田 仁志
24. 白田 則子
25. 佐藤 忠史
28. (田端 裕)
29. (西ヶ谷修一)
30. (岩佐 昌夫)
33. (斎藤常實)

見聞きした鳥

1. カワウ
2. トビ
6. キジバト
7. (ドバト)
11. ハクセキレイ
12. ヒヨドリ
16. ツグミ
17. ウグイス
21. メジロ
22. ホオジロ
26. シメ
27. スズメ
31. ハシブトガラス

種類数 31 種 (ドバトを含む)

3. オオタカ
4. ハイトカ
5. ノスリ
8. アオゲラ
9. コゲラ
10. キセキレイ
13. モズ
14. ジョウビタキ
15. シロハラ
18. エナガ
19. ヤマガラ
20. シジュウカラ
23. アオジ
24. カワラヒワ
25. イカル
28. ムクドリ
29. カケス
30. ハシボソガラス

WATARIDORI - “必ず戻ってくる” - 渡り鳥の物語は「約束」の物語

『WATARIDORI』という映画が公開されています。ジャック・ペラン総監督。撮影期間3年、世界20カ国をロケ、100種類を超える渡り鳥の壮大なドラマということでフランスでは記録的な大ヒットだそうです。野鳥ファン必見のこの映画を紹介します。

あなたは世界中に散らばる渡り鳥たちが、どんな飛行ルートを通り、どんな経験を積み重ねているかを想像できるだろうか。『WATARIDORI』はそれを克明、かつ壮大に描いた世界で唯一の映像作品。

鳥たちから見た《世界》を描いたまったく新しい映像作品

主演は100種を超える渡り鳥。春先、彼らは多くの困難や試練を乗り越えて北極を訪れ、そこで繁殖期を迎える。そして雛がようやく飛べるようになると、再びやってきたルートを通って元の土地へ戻る。この作品は、彼らのその姿を克明、かつ壮大に描くことで、ドキュメンタリーでもフィクションでもないまったく新しい境地を切り開いている。監督のジャック・ペランは60年代に俳優としての地位を築いた後に映画製作を始め、常に新しい試みによって映像の世界を広げてきた。その彼が今回挑んだのは渡り鳥たちの物語だった。

荒れ狂う高波に飲み込まれるアホウドリや36,000キロという最も長い距離を泳いで渡るキョクアジサシを撮影するため、スタッフは6チームに分かれて世界の極地へと赴いた。訪ねた国は20カ国以上。スタッフとしては撮影のために特別に造られた超軽量航空機のパイロット17人、14人の写真監督、5人のアニメ映画監督、9人のフィクション映画監督、そして鳥類の専門家も参加している。彼らは険しい山々を一気に飛び越えようと凄まじい風に立ち向かうが叶わず落下していく者やまた人間の出した重油交じりの泥に足を取られて、飛び立つことが出来なくなる者の姿をあるがままに描き出している。一方、物語の主軸を成す鳥たちに関しては、フランス郊外に約40種類1,000羽を集めてトレーニングを行った。といってもいわゆる調教ではない。ジャック・ペラン率いるスタッフたちは、鳥たちがより自然に動けるように、卵の頃から人の声や機器の音に慣れさせたのだ。お陰で鳥たちは、スタッフが用意した超軽量航空機が群れの真ん中を飛んでも、平然と飛行できるようになった。こうして3年間の撮影で述べ300時間のフィルムが出来上がり、製作費は20億円に及んだ。これはドキュメンタリーの総製作費としては世界一となった。

できあがった映像は、CGを一切使用していないにもかかわらず、鳥たちの目から見た世界をダイナミックに映し出すものとなったわけだ。その映像を、ニック・ケイブやロバート・ワイアットの曲が彩る。リアルな映像は観る者を鳥の視点に立たせ、まったく新しい感動を味わわせてくれる。空を飛ぶこと。それは太古の昔から人間が夢見てきたことだ。ジャック・ペランはその夢を映像という手段でかなえることに成功したわけだ。その感動は『WATARIDORI』が本国フランスで280万人以上を動員、その後世界各国で大ヒットを記録し続けているという事実によって裏付けられている。

神奈川県、東京都で公開されている劇場は次の3館のみです。4月5日から上映中です。

チネチッタ : JR 川崎駅 東口

テアトルタイムズスクエア : JR 新宿駅 南口

銀座テアトルシネマ : 地下鉄 京橋・銀座一丁目・銀座

新宿タカシマヤでは映画の公開を記念して写真展もやっています。

2階タイムズタワー 4月9日(水) ~ 4月22日(火)

干潟を守る日 2003 in 花水川

1997年4月14日に諫早湾が締め切られ、広大な湿地が消えてなくなりました。この日を忘れずに、諫早湾干潟の回復や各地の干潟や湿地の保全を進めていくために、毎年4月14日を「干潟を守る日」としました。潮干狩りや春の渡り鳥のシーズンでもあるこの時期、4月から5月にかけて、今年も全国で干潟や湿地の保全をアピールする活動が行われます。

こまたんでもこの活動に参加し、次のような観察会を行うことにしました。

「干潟を守る日 2003 in 花水川」

日時：4月27日(日) 雨天中止

場所：花水川河口（花水橋から河口まで、できつつある干潟を観察しながら、そこに集まる野鳥を観察します）

集合：午前6時、花水公園

参加は自由です。ちょっと朝が早いですが、あまり観察したことがない河口まで歩きましょう。

なるほど・ザ・野鳥 (No.8)

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

(10) 鳥ってロクロ首みたい - 鳥の首は

外敵から身を守るためには、視野が広いほうが有利です。ヤマシギの目は頭の比較的后方にあるので、その視野は広く360度もありヤマシギは頭を動かすことなく自分の周りのほとんどすべてを見ることができます。いっぽう、人間のように顔の前面に目がついているフクロウ類では、視野は狭く60~70度しかありません。しかし、視野の狭さをカバーするために、フクロウの頭部は反射的にすばやく動くことができる頭と、しなやかな頸椎を持っています。だからフクロウの首は両方向に半周以上頭を動かすことができます。人間の手に相当する部分は鳥では翼になっているため、鳥のくちばしはある場合には手の役割も果たさなければなりません。その結果、鳥の頸椎はよく動くようにできています。頸椎のひとつひとつが、隣の頸椎に被さる構造をもち、強化されていて、頸椎の数は首の長いハクチョウでは25個もあり、首の短いインコでは11個と種によって異なります。

【お知らせ】

吉沢・鷹取山自然観察会 - 第46回 市民探鳥会 -

やっと春が訪れました。夏鳥も姿を見せ、花もたくさん咲いています。ハイキングに絶好の季節となりました。野鳥を中心に草花、きのこ、昆虫など自然を観察しながら鷹取山の林を歩きましょう。

日時：5月18日(日) 9時から、15時頃に解散予定、雨天中止

集合：午前9時 神奈中バス「生沢」バス停前 東の池

午前8時 JR平塚駅北口 地下道入口付近 (8:30発のバスに乗ります。都合のよいバスはこの一本だけですので、遅れないようにお願いします)

コース：東の池 谷戸川 鷹取山 霧降りの滝 松岩寺

持ち物：飲み物・お弁当(必ず)、双眼鏡、図鑑、筆記用具、帽子、タオル

注意：集合と解散の場所が異なりますので、車の場合はご注意ください。

連絡先：岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥報

アオバト情報

冬の間も大磯町・虫窪の林でアオバトが観察されています。3月から4月の初めにかけて連続的に観察しました。次のように多数が記録されています。冬の行動の一端が分かりました。

3/15 2羽(北から飛来、上空を通過)、5羽(東から飛来、林に降りる)、4羽(林から飛び出す)

3/22 7羽(北から飛来、林に入る)、3羽(林から出てくる)、10羽(西から飛来、北のほうへ飛び去る)

3/29 2羽(北から飛来、西へ飛び去る)、2羽(上空に現れ、北へ飛び去る)、6羽(上空に現れ、西へ飛び去る)、24羽(森の南側から飛来、東側の林に入る)、16羽(上空を旋回し、西側へ飛び去る)

4/6 上記同地でのアオバトの観察無し、越冬期終了で移動したか？

レンジャク情報

大磯町・虫窪 : 3/15 ヒレンジャク 6羽 (木にとまる)

大磯町・大磯 : 3/16 ヒレンジャク 5羽 (庭の餌台に飛来)

大磯町・東小磯 : 4/6 ヒレンジャク 5羽 (18時頃、木にとまっていたが眠ってしまった。罅入りか?)

こまたんメンバーのフィールドノートから

オシドリ : 3/19 1羽、鈴川・親水公園上流の県立養護学校前

クロガモ : 3/16 1羽、茅ヶ崎海岸

マヒワ : 3/11 60+羽、宮ヶ瀬・早戸川林道。 3/18 10+羽、鷹取山

4/1 約 200羽、2本の高木に鈴なりにとまり、にぎやかにさえずる、金時山

クマタカ : 3/11 1羽、宮ヶ瀬・早戸川林道

エナガ : 3/11 ペア 4組、鷹取山、いずれも巣材集め中

ヤマシギ : 3/11 1羽、霧降の滝

ノスリ : 3/26 2羽、鷹取山、別々の高木にとまり、片方がさかんにピーーヨピーーヨと鳴く

カワセミ : 3/26 2羽(1)、吉沢の池、 が溪流の方へ飛び別個体の鳴き声がすると戻ってきた

イソヒヨドリ : 4/7 2羽()、四之宮(工場構内)、雌雄共にさかんにさえずり、 が を追いかける

シロハラ、アオジ、ルリビタキ : 4/3 吉沢・鷹取山、出逢う数が非常に少なくなってきた

【お知らせ】

定例カウント調査

吉沢・松岩寺 & 土屋・遠藤原 2003年5月3日(土)

生沢・鷹取山 2003年5月10日(土)

午前6時に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。

特に持ち物は必要ありません。

集合時間が変わっています。1時間早くなりますので、参加される方は御注意ください。

連絡先: 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2003年5月11日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第194号 / 4月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/komatan/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>